

町内の小学生が熱戦を繰り広げる

第 53 回野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会のアルペン大回転競技は 1 月 21 日、猪苗代スキー場で開かれ、町内小学校の 5、6 年生が参加しました。選手たちは、入賞や自己記録更新を目指して、真剣に競技に取り組みました。競技会場には保護者らが応援に訪れ、子どもたちに盛んな声援を送りました。

2 月 6 日に実施予定だったクロスカントリー競技は、大雪の影響で中止になりました。

各種目の入賞者は次のとおりです(敬称略)。

【アルペン大回転競技】

●小学 5 年男子 ①岩橋悠誠(猪苗代)44 秒 41 ②谷口陽楽(猪苗代)③長沼橙空(猪苗代二)④菅沼央(猪苗代)⑤小板橋舶斗(猪苗代)⑥佐藤孝太郎(猪苗代二)⑦武藤遼真(猪苗代)⑧阿部剛輝(猪苗代)⑨古川琉詞(猪苗代)⑩國分久澄(猪苗代)

●小学 6 年男子 ①堀結人(猪苗代)53 秒 54 ②小林莉久(猪苗代)③古川真聖(猪苗代)④五十嵐晴吾(猪苗代)⑤山内蒼翔(猪苗代二)⑥大束真利(猪苗代)⑦一ノ瀬潤(猪苗代二)⑧佐藤壮高(猪苗代)⑨川合大輝(猪苗代)⑩渡部七夏(猪苗代)



5 年男子大回転で優勝した岩橋選手

●小学 5 年女子 ①岩崎咲菜(猪苗代二)42 秒 16 ②野崎紗希(猪苗代二)③渡部紗彩(猪苗代二)④森田麻央(猪苗代二)⑤土屋凛花(猪苗代二)⑥長谷川七穂(猪苗代)⑦山内柚希(猪苗代)⑧五十嵐優心(猪苗代二)⑨長谷川咲璃(猪苗代二)⑩佐賀冬佳(猪苗代二)

●小学 6 年女子 ①武田理愛(猪苗代)57 秒 78 ②猪俣明莉(猪苗代)③長谷川きらら(猪苗代)④長谷川姫愛乃(猪苗代二)⑤鈴木明莉(猪苗代二)⑥佐藤心美(猪苗代)⑦鈴木陽歩(猪苗代二)⑧森口絢菜(猪苗代)⑨渡部心寧(猪苗代二)⑩森口稀良(猪苗代二)



校庭で雪だるまを作るとよみ小の大久保さん(左)と猪苗代第二小の六角ひなたさん

さとうきび親善大使が来町 猪苗代第二小

さとうきび親善大使を務める沖縄県豊見城市とよみ小学校 6 年生の大久保優菜さんと野坂帆菜さん、大湾有恵さん、浦崎にこさんは 1 月 30 日、猪苗代第二小学校を訪れました。歓迎会では、猪苗代第二小の児童が校歌を披露。さとうきび親善大使は、沖縄県の魅力や学校の様子を紹介し、さとうきびをプレゼントしました。歓迎会の後には、校庭で雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりして両校の児童が交流を深めました。

野口博士の生家で豆まき 猪苗代第二小

猪苗代第二小学校の 2 年生 31 人は 2 月 3 日、野口英世博士の生家で豆まきを行いました。野口英世記念館では、伝統行事に触れてもらうため、毎年町内の児童を招いて豆まきを行っています。同館の八子弥寿男館長が「野口博士の生家に福を呼んでください。今年 1 年良いことがありますようにと願って豆まきをしてください」とあいさつ。児童は鬼に扮した教員らに向けて「鬼は外、福は内」と大きな声を上げながら、元気に豆をまきました。



野口博士の生家で豆まきをする児童

2025 春の旅
お手紙募集



NHK-BSP4K・NHK-BS で放送している旅番組「にっぽん縦断こころ旅」では、個人のこころの中にある思い出の場所や心に残っている風景など、その場所にまつわる個人のエピソードを紹介しています。

“2025 春の旅”では、九州の宮崎をスタートし、大分へ。山口・広島・岡山・兵庫と瀬戸内側を移動し、一気に福島・宮城・岩手と 9 週間の旅をします。

そこで番組では、皆さんの「何気ない風景」「思い出の風景」「忘れられない風景」「みんなに伝えたい風景」「音の記憶と重なる情景」など、その風景の場所でのエピソードを募集します。

●応募内容

①住所、②氏名、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥思い出の場所・風景 ⑦場所にまつわるエピソード

●応募方法

・番組ホームページ (<http://nhk.jp/kokorotabi>) 内の申し込みフォーム

・FAX (03-3465-1327)

・郵送(ハガキまたは封書)

〒150-8001 NHK「こころ旅」係(住所不要)

●応募期限 4 月 7 日(月) 必着

●番組の放送予定日

【NHK-BSP4K】

5 月 26 日(月)～5 月 30 日(金)

【NHK-BS】

6 月 2 日(月)～6 月 6 日(金)

■問い合わせ先

NHK ふれあいセンター

☎ 0570 (066) 066 (ナビダイヤル)

☎ 050 (3786) 5000 (ナビダイヤルが使用できない場合)

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊
だ い す け
鈴木 大輔さん

主な活動内容：ふるさと納税の推進



Instagram



Facebook

昨年 4 月に着任して初めての冬が、8 年ぶりに 100 年を超える大雪に見舞われました。家ではごま油が寒さで固まってしまったり、窓が凍りつき開かないこともあり、「これぞ雪国」と実感しました。そんな雪国の洗礼を受けた私を、地域の人たちが大家さんが助けてくれました。皆さんのサポートのおかげで、雪かきの手間も最小限で済み、心から感謝しています。

私の任務であるふるさと納税推進支援では、地域の特産品や 6 次化商品をはじめ、町内での体験や宿泊、食事提供も返礼品にすることができました。返礼品の数とともに、参画事業者さまも着実に増えています。

今まで以上に猪苗代の魅力を多くの人たちに知ってもらい、町を訪れる人を増やすため、皆さんのご協力とふるさと納税への参画をお待ちしています。

そしてこれまでの任務を通じて、多くの地域の人たちと知り合うことができました。皆さんの温かさに触れ、これからも猪苗代にずっと住み続けたいと強く思うようになりました。